

| | | | |
|-----------|---|-------|-------|
| 講義名 | 心理学概論 | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | |
| 担当教員 | 蜂屋 真 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 4時限 | | |
| | 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科 | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 24062 |

主題と概要

まず、心理学の歴史、すなわち心理学の研究対象の変遷について講義する。次いで、発達に関してことばの発達と青年期の同一性の問題を、パーソナリティに関してパーソナリティの理論と心理テストについて講義する。さらに、臨床心理学の理論とカウンセリングなどについて講義する。最後に、動機、学習、記憶について論じる。

到達目標

心理学史、発達、パーソナリティ、適応の援助、動機、学習、記憶など、心理学の基礎的項目を理解している。

提出課題

授業の進行に従って、学生諸君に様々なレポートを書かせる。それを授業に反映し、活用する予定である。

評価の基準

何度かレポートを書かせるが、これをもって理解度試験とし、期末試験の結果と合わせて成績を評価する。成績の点数配分は、理解度試験（30%）、期末試験（70%）である。

履修にあたっての注意・助言他

授業は板書を中心に行われ、ノートを取ることが必要である。試験問題はノートから出題される。授業中出席チェックをかねたレポート作成を求めるが、これを予告なしにランダムに行う。従って、授業を欠席していると、単位取得が難しくなる。なお、教員免許（高校・公民）、認定心理士の取得をめざす諸君は、この授業を必ず履修しなければならない。教科書は基礎心理学の教科書と同一である。

教科書

| | | |
|-----------------|------|---------------|
| 人間理解の科学：心理学への招待 | 鈴木清編 | ナカニシヤ出版 2000円 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

プリント資料及び参考文献

関連資料は授業中に配布する。

授業計画

1. 心理学とは：構成主義、行動主義、認知主義（p.5～p.7）
2. 発達（1）：発達の原理、胎生期、乳児期、児童期（p.67～p.83）
3. 発達（2）：音声知覚、喃語、内言、外言、自己中心語（p.43～p.47）
4. 青年の心理（1）：青年期、身体的変化、発達課題（p.73～p.79）
5. 青年の心理（2）：境界人、自我同一性の確立・拡散、モラトリアム期（p.73～p.79）
6. パーソナリティ（1）：YG性格検査の実施・採点・解説（p.84～p.93）
7. パーソナリティ（2）：類型論、特性論（p.84～p.93）
8. パーソナリティ（3）：評定尺度法、質問紙法、作業検査法、投影法（p.84～p.93）
9. 適応の援助（1）：ロジャース、フロイト、ユング、アドラー（p.94～p.108）
10. 適応の援助（2）：カウンセリング、精神分析、行動療法（p.94～p.108）
11. 欲求と動機づけ（1）：生理的動機、内発的動機（p.56～p.62）
12. 欲求と動機づけ（2）：社会的動機、動機の階層（p.56～p.62）
13. 学習（1）：本能行動、比較行動学、刷り込み（p.13～p.19）
14. 学習（2）：学習行動、古典的条件づけ（p.32～p.37）
15. 記憶：感覚記憶、短期記憶、長期記憶（p.47～p.55）

予習・復習

授業内容は、授業計画に付された教科書ページ箇所に対応する。予習として授業内容に対応する教科書の箇所を読んでおくこと。復習として教科書を活用し、さらに関連書籍を学習すること。

備考